

116 新ロードマップに基づく資源管理等高度化促進事業

令和9年度予算概算要求額 779百万円（前年度 505百万円）

<対策のポイント>
改正漁業法の下、資源管理体制の構築を推進するため、「資源管理の推進のための新たなロードマップ」等に基づき、TAC管理・IQ管理の運用に必要な体制の強化、自主的な管理の強化等を行うとともに、国際資源の管理体制構築を推進します。

<事業目標>
資源管理の推進による漁獲量の回復（漁獲量292万t〔令和4年度〕 → 444万t〔令和12年度まで〕）

<事業の内容>	<事業イメージ>
1. 資源管理協定高度化等推進事業 496百万円（前年度 237百万円） ① 資源管理協定高度化推進事業 自主的な資源管理の体制の高度化のための協定の履行確認、広域での資源管理、資源管理協定に関する情報発信、地域の実情に応じた操業体制を整備するための取組等を支援します。 ② 数量管理体制構築推進事業 ア IQ管理の推進に向けた調査等の取組を支援します。 イ 定置網漁業等における数量管理促進のための技術開発を支援します。 ③ 遊漁資源管理システム構築事業 ア 遊漁による採捕量を推計するための調査等を実施します。 イ 遊漁者に対する資源管理の指導、遊漁船における採捕量の収集を促進させる取組等に必要な経費を支援します。 2. 国際資源の管理体制構築促進事業 283百万円（前年度 268百万円） ① 周辺諸国等と協調した資源管理の推進等のための民間協議、国際的な資源管理に必要な情報収集等を支援します。 ② 地域漁業管理機関（RFMO）によるかつお・まぐろ等の国際管理資源の管理措置を履行するとともに、資源評価・管理に資する正確なデータ収集を推進します。	資源管理協定高度化等推進 「自主的な管理を強化」 資源管理協定の高度化 - 資源管理協定の取組の履行、改良等の取組を支援 - 県をまたいで分布する資源の広域での資源管理の取組を支援 - 地域の実情に応じた操業体制の整備のための取組を支援 「TAC管理・IQ管理を強化」 IQ管理の推進に向けた調査等の取組 - 漁業者・研究者・行政等の連携による資源評価に対する理解醸成の取組や来遊状況等を踏まえた効果的な資源管理を実施するための調査等を行い、IQ管理の推進への取組等を支援 数量管理のための技術の開発 - 定置網漁業等の数量管理技術の開発を支援 「遊漁採捕量等の把握・クロマグロ遊漁の管理高度化、遊漁者等への周知啓発」 - 遊漁採捕量等の調査の実施 - 遊漁船業者への講習会等の実施や遊漁指導員の育成・派遣等を支援 国際資源の管理体制構築促進 - 科学オブザーバーやEMで資源評価・管理に必要なデータを収集・分析、データ解析の充実による監視強化 - 周辺諸国等との資源管理の推進等のための民間協議、国際的な情報収集等の実施 - 輸入まぐろ類のDNA検査等の強化

<事業の流れ>

